

～県内初の導入！地中熱利用換気システムをご紹介します～

2月17日、町は地球温暖化防止対策として、近年注目されてきている地中熱を利用した換気システムを、町内の全小中学校の普通教室（計49教室）に導入しました。

地中熱は再生可能エネルギーとして、主に一般住宅や病院、介護施設などへの導入促進が図られてきましたが、学校の教室への導入は全国的にも例が少なく、県内では初めてであり大きな注目を浴びています。

地中熱利用換気システムって何？

このシステムは、地中の温度が季節を問わず約15度と安定していることを利用して、地中に埋設したパイプの中で空気の汚れを除去して、きれいな空気を教室内へ送ることができるものです。

24時間換気させることで、教室内を常にきれいな空気で囲み、子どもたちの学習をサポートします。

夏は涼しく、冬は暖かい空気となることから、昨年夏に整備したエアコンと併用することで、学校の電気料金削減や二酸化炭素排出量の削減が見込まれるなど地球環境に優しいシステムです。

どんな効果があるの？

花粉やPM2.5、黄砂などの環境対策やインフルエンザなどのウイルス対策として衛生面や健康面での効果が期待できます。

先生たちからは「24時間換気しているので、朝から教室に入ったときに空気がきれいで、やわらかい感じがします。」と好評です。



▲環境が整った教室で勉強する児童

地中熱利用換気システムのイメージ図

